会津若松市スマート農業導入支援事業補助金の募集

令和7年度の本補助金の第3回目の要望調査を実施します。詳細は以下のとおりです。

目的	スマート農業機器等の導入により営農活動における課題解決に取り 組む市内農業者に対し、スマート農業機器等の導入に係る経費の一部 を支援するものです。
対象者	□認定農業者 □認定新規就農者 □地域計画において地域の農業を担う者に位置付けられた経営体
対象経費	農林水産省が定める <u>「農業新技術 製品・サービス集」</u> に掲載されて いる機器等の購入に係る経費
補助率	3/10 <u>以内</u> (上限100万円)/1事業者あたり
対象品目	本市振興作物 □土地利用型作物(水稲、大豆、そば) □園芸作物 野菜(トマト、アスパラガス、キュウリ、ホウレンソウ、サヤインゲン、ピーマン、イチゴ、サトイモ) 果樹(会津みしらず柿、リンゴ、モモ、ブドウ、オウトウ) 花き(トルコギキョウ、ストック、ラナンキュラス) 薬用(会津人参) □畜産(会津地鶏、肉用牛)

<機器の例>

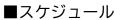
農業用ドローン、水管理システム、自動操舵トラクター、直進アシスト田植え機 etc. (詳細は農林水産省の「農業新技術 製品・サービス集」でご確認ください。)

【裏面あり】

■提出書類

- (1)スマート農業導入支援事業実施計画書(別紙様式1)
- (2)添付書類
 - ①共通
 - □導入予定の機器等の見積書(原則2社以上)及びカタログ
 - □直近の(消費税)確定申告書の写し
 - ②事業目標で「経営面積の拡大」を選択した場合
 - □営農計画書、農地台帳、農作業受託契約書など
 - ③事業目標で「販売額の向上」もしくは「経費削減」を選択した場合
 - □税務申告書(白色申告:収支内訳書、青色申告:損益計算書)、決算書など
 - ④事業目標で「労働時間の短縮」を選択した場合
 - □作業日報、農作業時間削減計画書など
 - ⑤事業目標で「その他」を選択した場合
 - □ (※目標を客観的に判断できる資料) など





(1) 1 2 / 10: ①計画書の提出〆切

(2)12月末 : ①補助対象者の決定 ⇒ ②交付申請書の提出

(3) 1 月上旬 : ①交付決定 ⇒ ②補助事業開始 (←この時点で発注可能となります)

(4)納品完了後:①実績報告書と交付請求書の提出 ⇒ ②補助金の交付

(5)翌年度以降:目標達成状況報告書(添付書類含む)の提出(3年間は必須)

■Q&A

- Q1. どのように補助対象者を決定するのか?
- A1. 提出された計画書(別紙様式1)及び添付書類を基に、市で審査して決定します。場合 によっては不採択となる可能性もございます。
- Q2. 「農業新技術 製品・サービス集」とは?
- A 2. 農林水産省のHPで公開している冊子です。以下からご覧できます。





お問い合わせ:会津若松市役所 農政課 農業活性化グループ 担当/小柴

電話:0242-39-1253 / mail:nosei@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

※計画書のデータは、市HPからダウンロードいただけます。

会津若松市HP スマート農業 補助金 で検索してください。